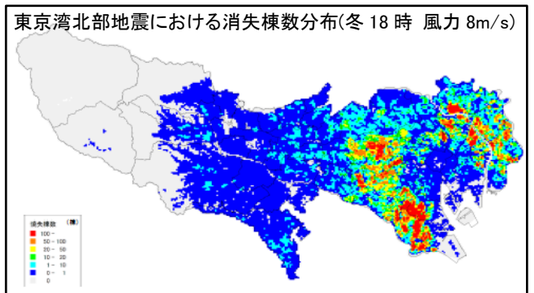

東京湾北部地震における消失棟数分布(冬 18 時 風力 8m/s)

首都直下型地震等における東京の被害想定(H24.04.18 公表)

大田区では、「地域防災計画」における大震災時の被害想定で 30,000 件を超える火災と、1,000 人を超える死者が出ると想定されています。
←この被害想定（大田区が真っ赤）が発表されたときが、縁プロジェクトの防災活動の出発点です。
世代や職種を超えたネットワークと災害時のスキルという貴重な「財産」を培ってきた私たちだからこそ、「記憶」を風化させず、防災スキルを区民に広めることができます。

出前防災セミナー

私たち「縁プロジェクト」と一緒に防災について考えませんか？

- ◆基本は２時間コースです。ご希望に応じて柔軟に対応します
- ◆土曜日、日曜日は１０：００以降に実施。午前午後どちらも対応します
- ◆平日は１９：００以降でお願いします
- ◆会　場　　区営施設、特別出張所の会議室、学校など、どこでも対応します
- ◆定　員　　５名～１００名（何人でも対応します）
- ◆対　象　　どなたでも
- ◆参加費　　無料
- ◆企画運営　縁プロジェクト

自治会町会、地域サークル、同好会、学校
・・・どんな団体でOK！
大田区内であれば、どこへでも行きます。

希望団体募集中！

出前防災セミナー（２時間コース）の例

【事例1】(講話とゲーム)
10:00　開講
　　講話(東日本大震災)
10:45　クロスロードゲーム
　OR　避難所運営ゲーム
11:40　感想の共有
12:00　閉講

【事例2】(救命法と講話)
10:00　開講
　　救急救命法講習
11:00　講話(東日本大震災)
11:40　感想の共有
12:00　閉講

【事例3】(講話と街歩き)
10:00　開講
　　講話(東日本大震災)
11:45　街歩き
11:40　感想の共有
12:00　閉講

＜クロスロードゲーム＞
「クロスロード」とは、分岐点・分かれ道、という意味です。さまざまな災害時のジレンマを伴う重大な決断の場面を問題として提出し、自分以外の誰かになり切ってそのジレンマを経験し、そして判断＆決断をするゲームです。

＜避難所運営ゲーム(＝ＨＵＧ)＞
大災害時における災害避難所の運営に関しては、東日本大震災でもさまざまな問題が巻き起こり、避難所を運営するリーダーのみなさんは、苦悩の連続だったそうです。避難所を運営する上でさまざまな問題をカードで示し、それを時系列にしたがって避難所運営リーダーとして判断していくゲームです。

縁プロジェクトの会員募集
一緒に活動しませんか

- 震災復興支援ボランティア
- 防災教室スタッフ
- 松ぼっくりの里親さん
- 絆音楽祭スタッフなど

▼縁プロジェクトホームページ
http://otaenishiproject.jimdo.com/

縁プロジェクト活動報告
えにし通信

No.6
発行日：2017 年5月 27 日
発行者：縁プロジェクト
代表　仙　裕司
東京都大田区大森北 2-10-8

友好都市宣言
～大田区＆東松島市～

昨年１１月に大田区と東松島市は友好都市となりました。
６年前の東日本大震災では、大田区はいち早く東松島市へ人と物を支援し、広く区民に対して災害支援ボランティアを募り、たくさんの大田区民がボランティアバスに乗って、東松島市へと向かいました。そうしたボランティアは、５年にわたって続けられ、延べ１３，０００人を超える区民が東松島市でボランティア活動をしました。
この間、ボランティアとして赴いた大田区民と東松島市民とが少しずつ交流を始め、繋がりを持ち、その輪は徐々に広がっていきました。
そして震災から６年目を迎え、大田区と東松島市は友好都市締結協定を結びました。

これから、わたしたちは新しい段階に入ります。
友好＝友だち。縁プロジェクトは、この６年間で培った東松島市民との関係をさらに継続して行きます。
縁プロジェクトは、東松島市民の皆さまとの交流を続けていきます。そして東松島市民の皆さまから教えてもらった災害経験を大田区民の皆さまに伝える語り部の役割を果たしていきます。

みんなの共同作業で地域の仲間づくり
～つるし雛に想いを込めて～
平成 29 年 3 月 10・11 日

↑会場づくりを手伝いました

震災後、なんとか東名地区の人たちの和を取り戻したいとの思いで、お母さん方を中心に《はまぎく会》が結成されました。
《はまぎく会》では、手元にある端切れをもちより、コツコツとお人形づくりをしながら地区の皆さんとのふれあいを深めていったそうです。縁プロジェクトも仲間に呼びかけて端切れの布を集め、はまぎく会に送りました。
こうした人形作りをしながら、仲間としての絆を深め、震災の苦しい経験を克服することができたとのことです。
今回で３回目とのことですが、縁プロジェクトとしては初めて会場づくりのお手伝いをしました。会場づくりをしながら、心を込めた人形に我々も癒された次第です。

《はまぎく会》のみなさま→